

稼げる空き家再生の仕掛け人、「ビンテージ住宅は格好良い」 和田欣也氏

空き家の増加が社会問題になる中、独自のアプローチで解決策を探るのが、和田欣也氏だ。古い住宅の再生でにぎわいを生み出し、街の経済を回す「がもよんモデル」の立役者に学ぼうと、全国から視察が殺到している。



(写真：太田 未来子)

[画像のクリックで拡大表示]

「何軒目ですか、どこに行ってきました?」。常連は店に入ると、真っ先にこう聞かれる。答えると、前の店とかぶらない、いいあंबいの料理が出てくる——。「がもよん」(大阪市城東区蒲生4丁目の愛称)での日常は、とにかく居心地がいい。

「たばこをポイ捨てする人もいなくなり、街の空気感が変わった」。こう話すのが、R PLAY (アールプレイ) (大阪市城東区)の和田欣也代表取締役。築100年以上の長屋や古い木造住宅の空き家が目立つ寂れた地域だったがもよんを変えた、プレイスメーカーだ。「がもよんモデル」に学ぼうと、全国から視察が引きも切らず訪れる。

(『日経アーキテクチャ 2023年12月28日号』より一部掲載)